

第6学年学年だよ

Excellent growth

仲良し

20号

ほぼ毎週発行

便利な子定付き

参観授業『携帯電話』について



↑関係がよさそうに見えて、実は別のグループを作って誰かを攻撃している『裏グループ』

先日は道徳の授業参観及び学年・学級懇談会にご参加いただきありがとうございました。道徳授業参観では、携帯電話の持つ危険性について子ども達に伝えていきました。

はじめにSNSソフトの一つであるラインについて、紹介した後、文字情報だけでは誤解が生じやすいこと、また、チェーンメールの怖さなどを伝えていきました。そしてラインなどのSNSを使った様々ないじめがあることを詳しく伝えていきました。具体的には、仲良し集団で会話するグループトークから特定の子を締め出す『グループトーク外し』、メッセージを読んでも返事をしない「既読無視」の行為を激しく非難する『既読無視いじめ』、グループトークで仲良くするふりをしながら、べつのグループトークを作って誰かを攻撃する『裏グループトーク』、さらには攻撃する側がいつでも変わるという事例などを紹介しました。

子ども達は、そんな陰湿な行為があることに驚いていたようですが、実際にスマートフォンなどの携帯電話を使う中高生を中心に、そのようないじめや悲惨な事件が昨今多発しています。どうか、子ども達には、この授業を通して加害者にも被害者にもなってほしくないと思っています。

また、学年懇談会では、「携帯電話を持たせるとどうなるか」というテーマで、広島県警の少年育成官の方の講話をもとにしたお話をしました。コミュニケーションアプリを使った性犯罪の増加の状況や、特に何も知らない10代の子がいとも簡単に被害に合いやすいこと、家庭崩壊や学力低下につながる事、また加害者にもなりえるということなどをお伝えしました。被害にあったり加害者となったりする子ども達のほとんどが「うちの子だから何とかなるだろう」「まあほっといてもきちんとするだろう」という放任傾向の家庭にあるというデータもあります。

ぜひ参考にしてください。(政府広報オンラインホームページより)

あなたのお子さんは大丈夫？
スマホ、携帯にご注意を！
ネット犯罪の落とし穴



この言葉で検索すると出てきます。

保護者の方をお願いしたいのは、

- 必ずフィルタリングをすること（フィルタリングについて学ぶこと）
 - 子供に、自分たちがやり取りするメッセージを全部見せるように約束すること
 - パスワードやパターンロック、指紋認証などのロックをかけさせないこと
 - ネット検索結果（何を調べようとしたのか）を全部見せるよう約束すること
 - 夜間使用禁止にすること
- （広島県警少年育成官の講話より）

ということを、ぜひ守っていただきたいと思っております。※詳しい情報は左記政府広報に記載されています。
それに加え「スマホやパソコンの使用に関しては、〇才までは、子どもにプライベートを認めないという我が家独自の家庭の方針を示す。」そして、それを認めない限り、あるいは約束を破れば携帯電話を持たせないというルールをご家庭で作っていただければと思います。

《児童の感想より》

- 木曜日にやったラインの授業。先生にいろいろ教えてもらって、私はとても不快な気持ちになりました。理由は、ネットでの関係（うわべだけの関係）だけになったり、いじめや詐欺にあったりすることが、実際にこの世の中で起こっているからです。私は、正直なところ、ラインにあこがれていました。（中略）ラインというたかが一つのアプリで、人が悲しむのは見たくないです。間違ったことにも利用してほしくないです。
- ラインとは何でしょうか。ラインは、何をやっているのかわからないけれど、どこでも人を傷つけることができる、そういうこわいアプリです。私が思うこと。それは、まだ小学校6年生ではラインは使わなくていいし、スマホも必要ないと、すごくすごく思います。それは、道徳の授業で先生たちが言われたように、まだまだ知らないことがめっちゃあるし、まだスマホを使いこなせないと思うからです。今ラインをしている人は学年でもたくさんいるし、スマホを持っている人もいます。でも、持っちゃいけないわけではないけれど、やらないほうがいいと思います。現に、私はラインをやっていないスマホを持っていないから、怖いと思う経験はないけれど、この授業でラインのこわさを知りました。これからは気を付けていきたいです。
- 私は、家のタブレットでいとこや親せきとラインをやっています。最初は、友達とやっている人はうらやましかったけれど、最近はそうでもなくなりました。理由は、新聞でラインなどのスマホのメッセージアプリの犯罪についてよく耳にするようになったからです。そこで私は、ラインについて少し疑問に思うことがあります。ふだんの会話では、悪口を言わない人がラインなどでは言うてしまうことです。なぜ会話の時は自分の気持ちをおさえることができるのに、ラインだとできないのか。それには、いろんな理由があると思います。たぶん「ライン」というアプリを作った人（考えた人）は、いじめや悪口やかげ口を書き込むためのものではなく、みんなが遠く知人などに、気軽にコミュニケーションがとれるようにするために作った（考えた）のだと思います。私たちは、ラインが何のためにあるのか、相手はどんな思いをしているのかを考えることが大切だと思います。（中略）
- （中略）相手とずっと仲良しのままでいたいなら、ライン等にたよらず直接会って話し、表情から気持ちを考えるのがよいではないかと思いました。

お知らせ

○音楽コンクール DVD 販売について

10月にあった、尾道市小学校音楽コンクールのDVDの注文を受け付けております。
詳しくは、別紙を参照ください。締め切りは12月14日（水）となっております。

○ノーテレビデーアンケートについて

12月11日（日）は、ノーテレビデーとなっております。アンケートのご記入・提出をお願いします。

